

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金	開始 年 度	昭和47年度
団 体 名	函館市教育研究会連携協議会	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則・函館市教育研究活動推進事業補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内教職員による各教科等研究活動団体が相互の連絡調整を図り、効果的な活動の推進に努め、函館市における幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教育水準の向上を目指した事業を行う。
目 的	(目 的) 函館市における教育水準の向上および優れた教育実践の情報発信等のため、研究会相互の連絡調整を図り、効果的な教育研究活動の推進にあたる。
・ 効 果	(効 果) 研究会相互の連絡調整を図り、幼稚園・小・中・高等学校の一貫した教育の充実と効果的な活動を推進でき、各種研究会、研修会の参加補助を行うことにより、全道および全国教育内容を把握し、児童生徒へのより効果的な教育活動が推進できる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 【下段】:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	R元	450 [450]			1,456 [1,406]			1,906 [1,856]
	R2	450 [450]			803 [794]			1,253 [1,244]
	R3	450 [450]			849 [818]			1,299 [1,268]
	R4	450 [450]			828 [825]			1,278 [1,275]
	R5	450 [450]			766 [765]			1,216 [1,215]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R元			1,870 [1,820]	72 [72]			1,942 [1,892]
	R2			1,089 [1,080]	66 [66]			1,155 [1,146]
	R3			1,264 [1,233]	71 [71]			1,335 [1,304]
	R4			1,206 [1,175]	136 [136]			1,342 [1,311]
	R5			1,166 [1,070]	185 [185]			1,351 [1,255]

補助金・交付金チェックシート(No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金
----------------	------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	本研究活動は市教育委員会の本来業務でもあることから、研究活動に必要な物品等の一部を市教育委員会が直接購入することとしたため、補助金を廃止。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金
----------------	------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

本補助事業の効果は教職員の資質向上や教育力の向上であるため, 効果測定の数値基準を設定することは困難であるが, 実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているかどうかを確認し, 効果を測定する。

(達成状況)

各研究会がそれぞれ全国・全道大会への参加を行うことにより, 全道および全国の教育内容を把握し, 児童生徒へのより効果的な教育活動を推進することができた。

また, 授業研究や公開授業などに取り組み, 教職員の資質向上や研究実践など教育力の向上に効果があった。

各研究会の取り組みにより, 函館市において全国・全道大会が開催され, 教育振興のみならず, 地域活性化にもつながっている。



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☒	
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) (見直しの時期)
☐ 見直したうえで補助を継続	
☒ 廃止	
☐ その他	

(廃止の理由)

本研究活動は市教育委員会の本来業務でもあることから, 研究活動で必要な物品等の一部を市教育委員会が直接購入することとしたため, 補助金を廃止。

(廃止の時期)

令和5年度末

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 年度	☐ 終期到来時に再検討	令和 年度